

令和 5 年 1 2 月 2 6 日 開 催  
第 3 回 狭 山 市 地 域 公 共 交 通 活 性 化 協 議 会 資 料 3

## アンケート調査報告書(概要版)

# 狭山市市民アンケート調査結果概要

## ■調査概要

### 1. 調査の実施方法

調査対象者	市内在住の15歳以上：2,000人
調査方法	郵送配布、郵送回収（Web回答も可）
調査時期	令和5年9月29日（金）～令和5年10月15日（日）

### 2. 調査の実施結果

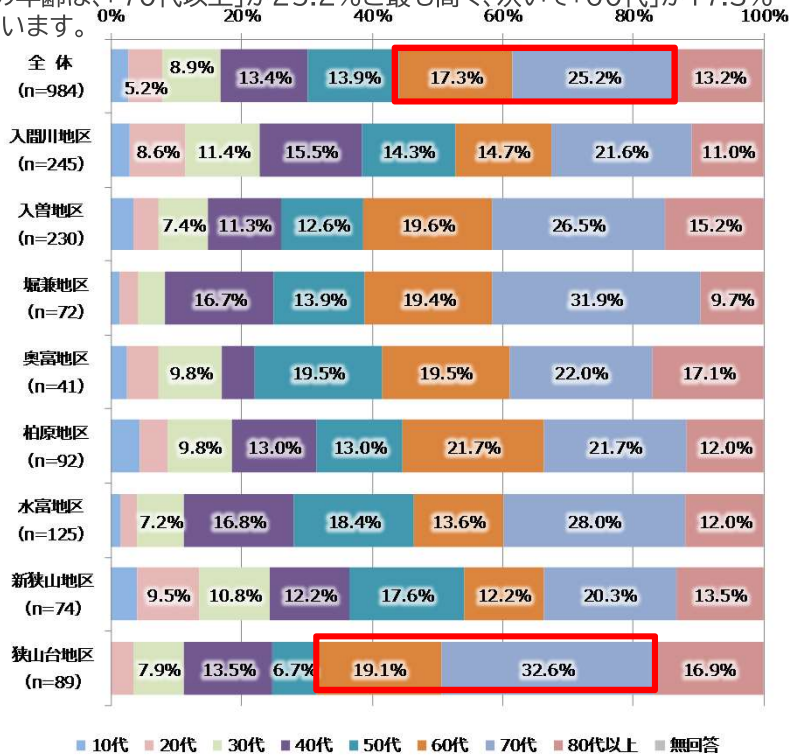
配布枚数	2,000枚
回収数	984票
回収率	49.2%

## ■結果概要

### 1. 回答者の属性

#### ①年齢

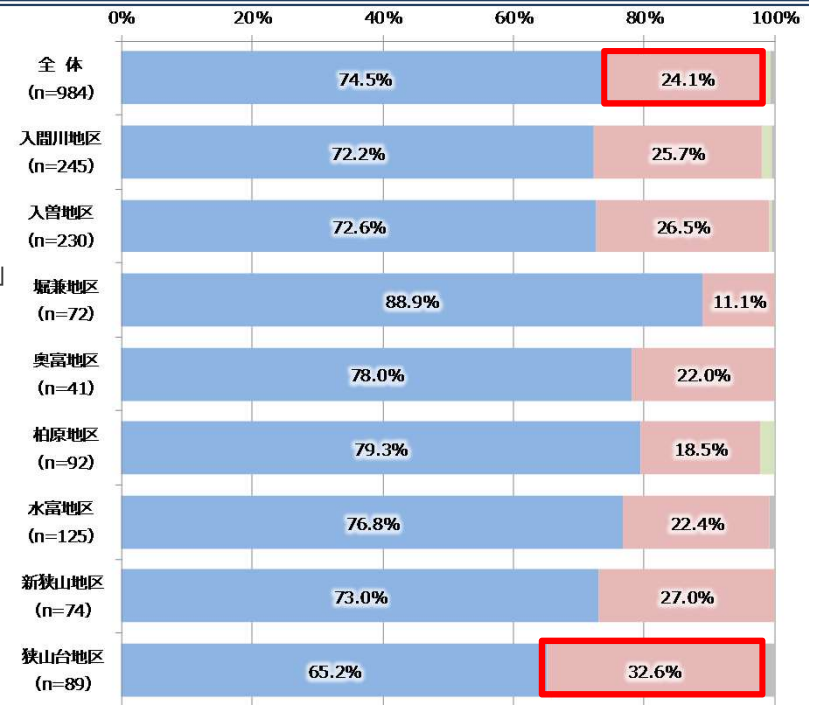
・回答者の年齢は、「70代以上」が25.2%と最も高く、次いで「60代」が17.3%と続いています。



#### ②運転免許の有無

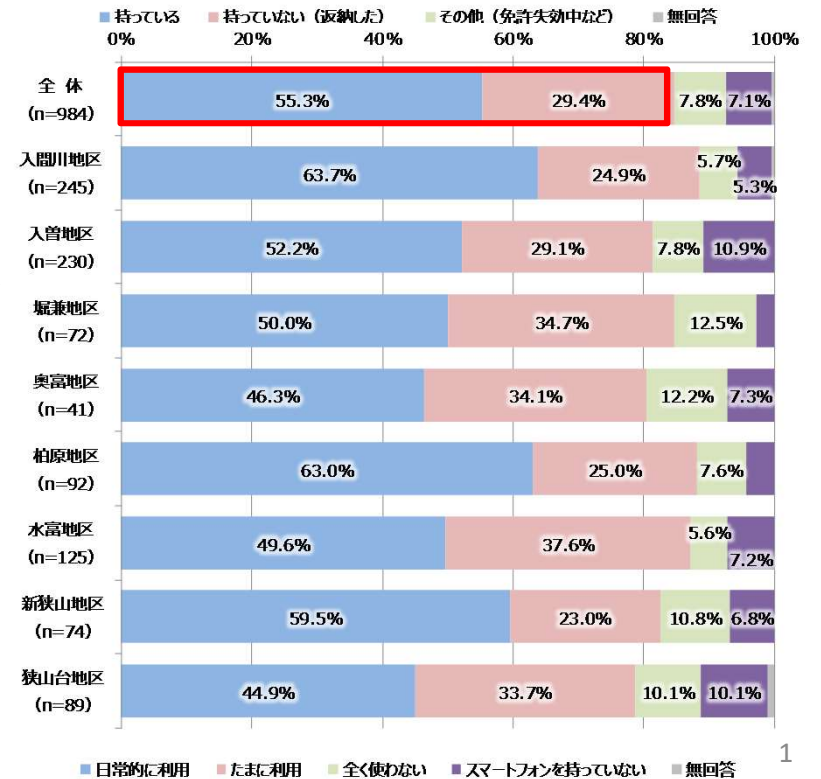
・運転免許の有無では、「持っていない(返納した)」が24.1%となっています。

・地区別に見ると、狭山台地区は、「持っていない(返納した)」の割合が他の地区と比較して高くなっています。



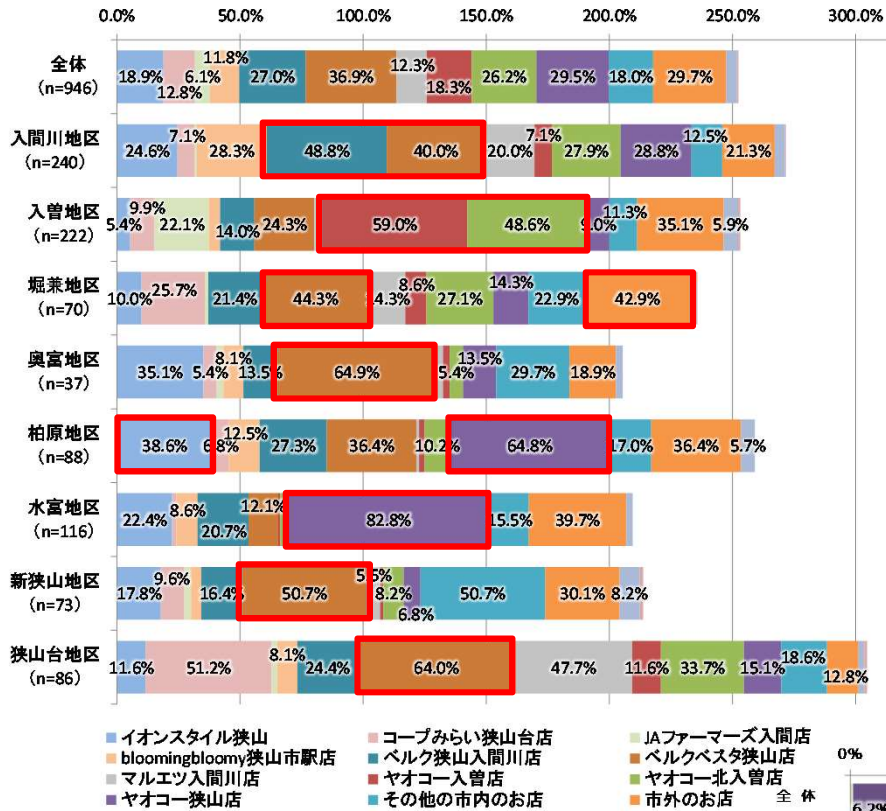
#### ③日常生活におけるスマートフォンの利用状況

・日常生活におけるスマートフォンやタブレット端末を使用した調べものや乗換検索の利用状況では、「日常的に利用」と「たまに利用」を合わせると、84.7%と高い状況です。

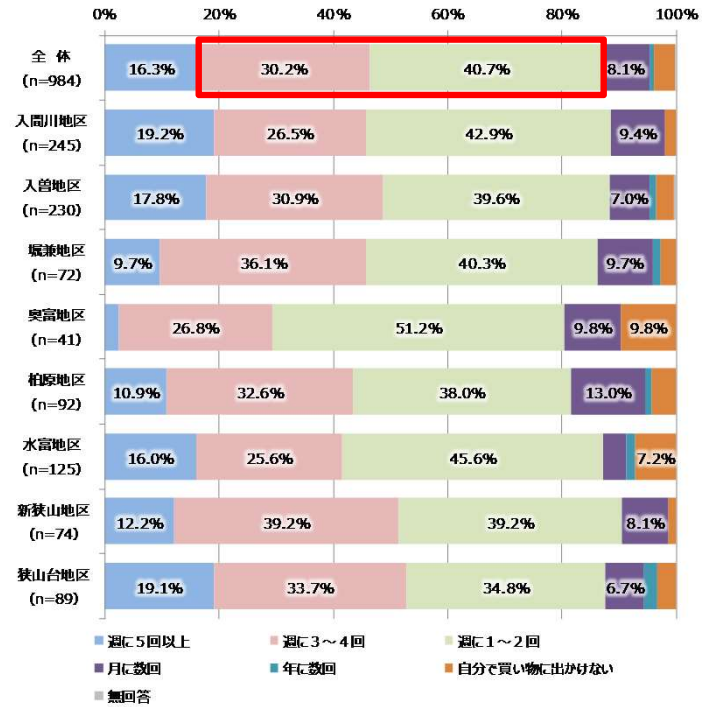


## 2. 買い物に関する移動状況

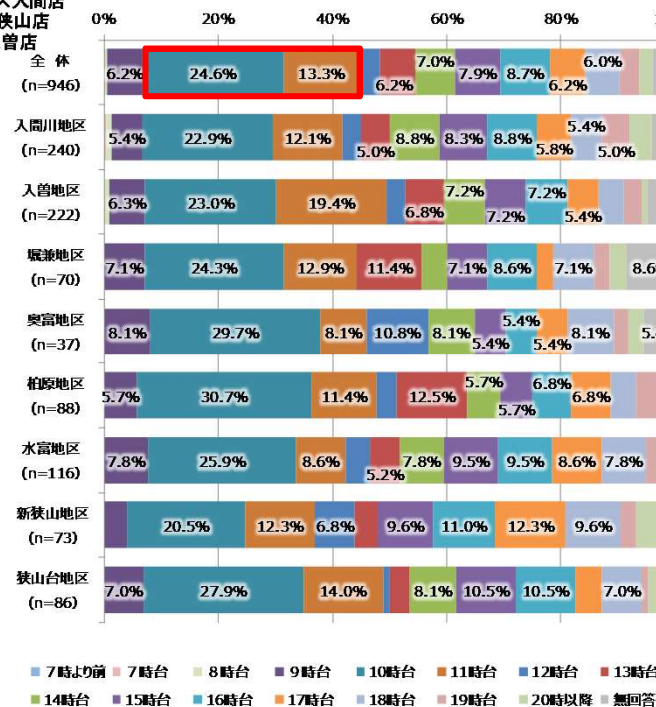
### < 買物先 >



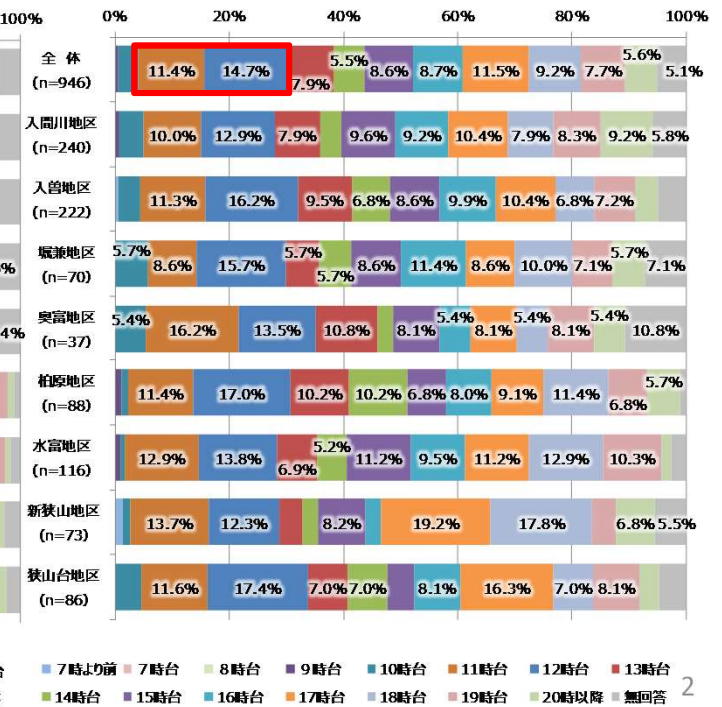
### < 買物頻度 >



### < 買物に出かける時間 >



### < 買物から帰る時間 >



### < 移動状況 >

- ・ 移動先は、地区によって違いが見られる。  
(ベルク狭山入間川店、ベルクベスタ狭山店、ヤオコー狭山店、ヤオコー入曽店、イオンスタイル狭山など)
- ・ 週に1~2回、3~4回の外出が多く、  
時間帯は、10時台~12時台の移動が多い。

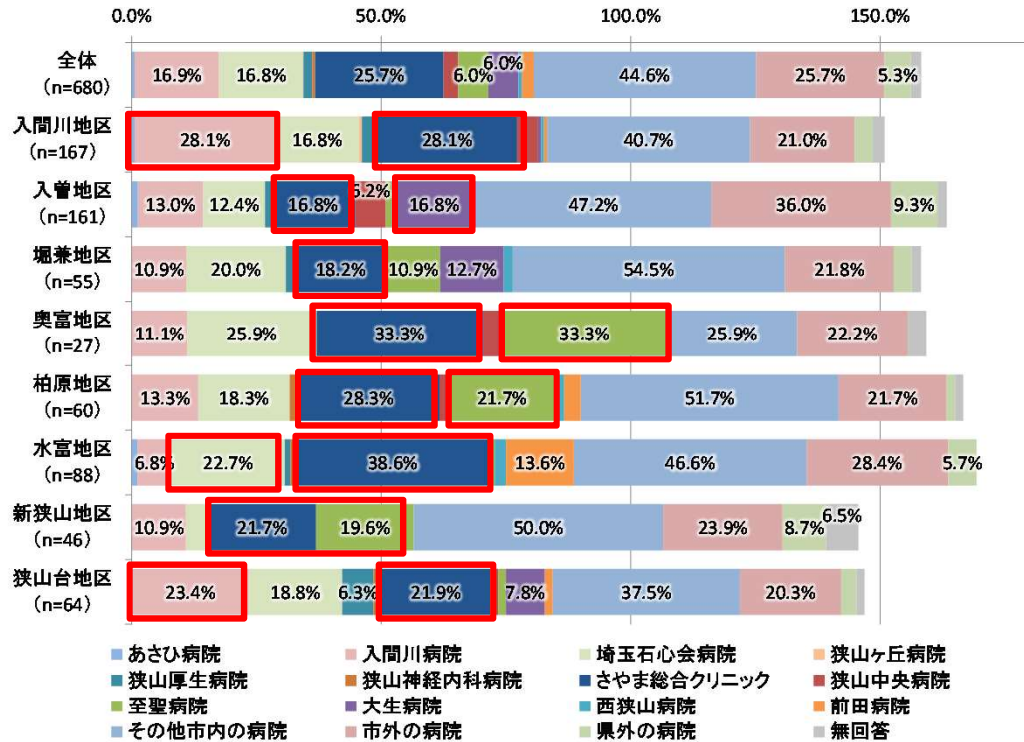
### < 公共交通の課題 >

- ・ 市内店舗への午前中に対する移動ニーズが高い状況である。
- ・ 移動ニーズが高い時間帯に対して対応を検討していくことが必要となる。

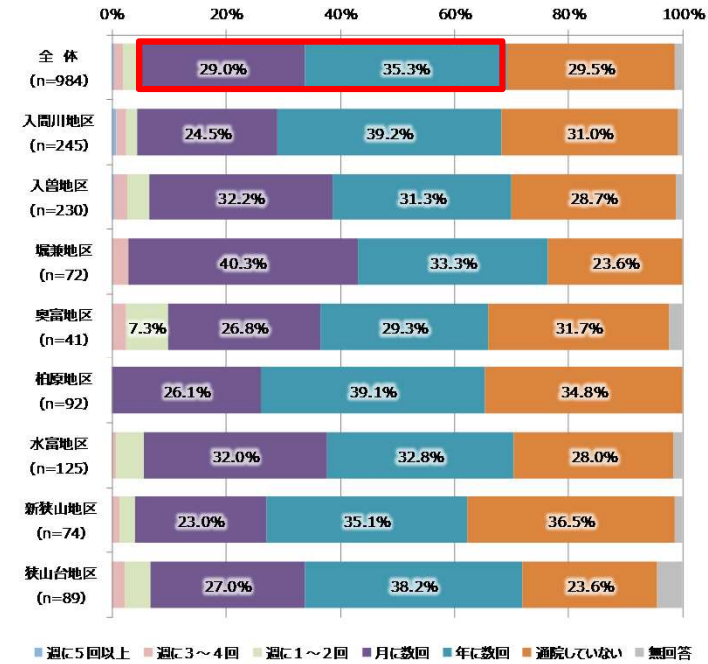


### 3. 通院に関する移動状況

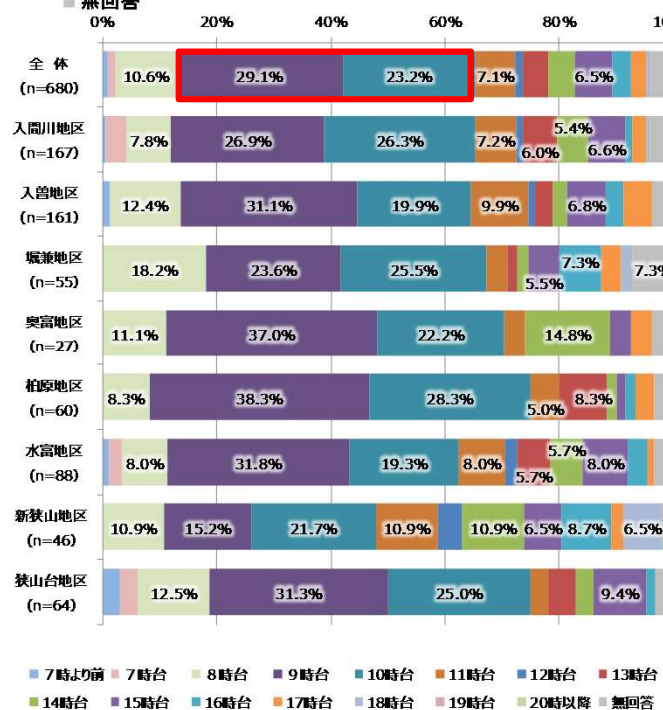
<通院先>



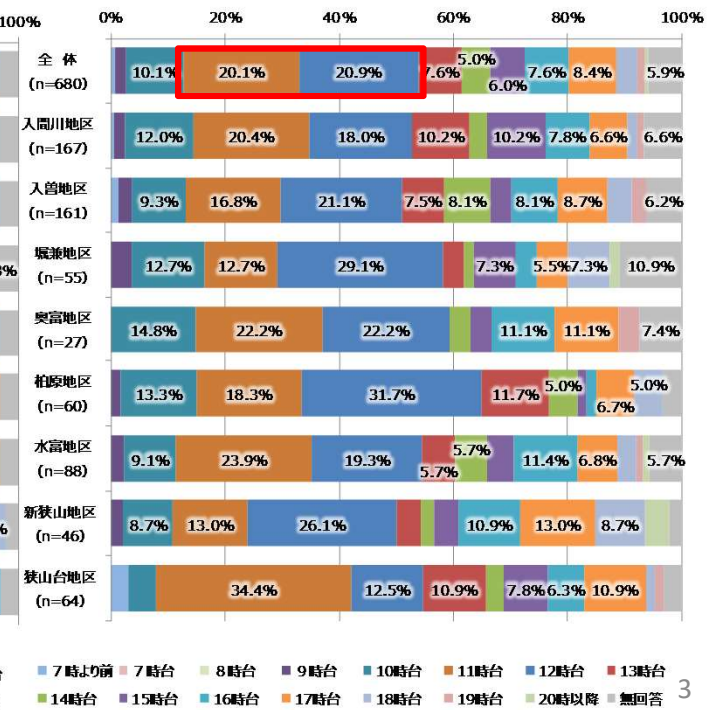
<通院頻度>



<通院に出かける時間>



<通院から帰る時間>



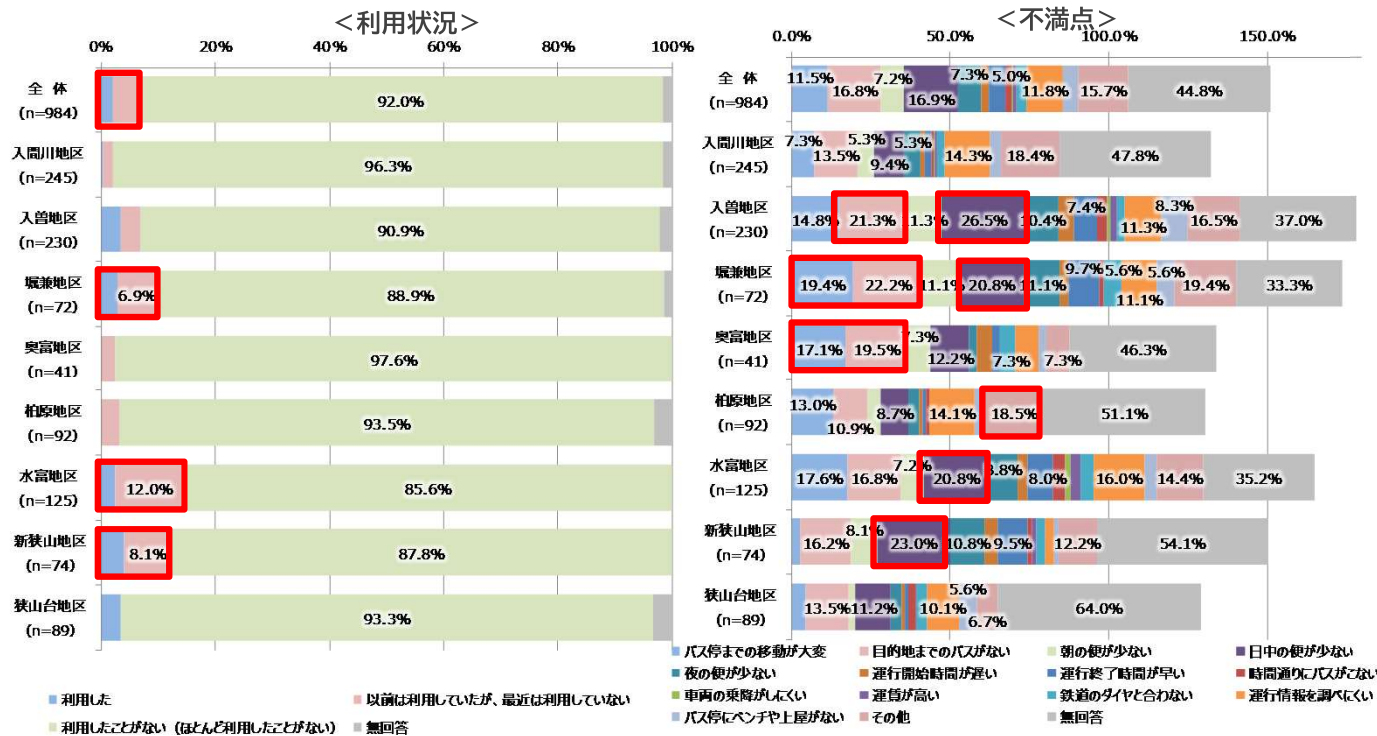
#### <移動状況>

- ・移動先は、地区によって違いが見られ、買物先以上に多岐にわたる。(入間川病院、さやま総合クリニック、大生病院、至聖病院、埼玉石心会病院など)
- ・年に数回程度、月に数回程度の外出が多く、時間帯は、9時台~12時台の移動が多い。

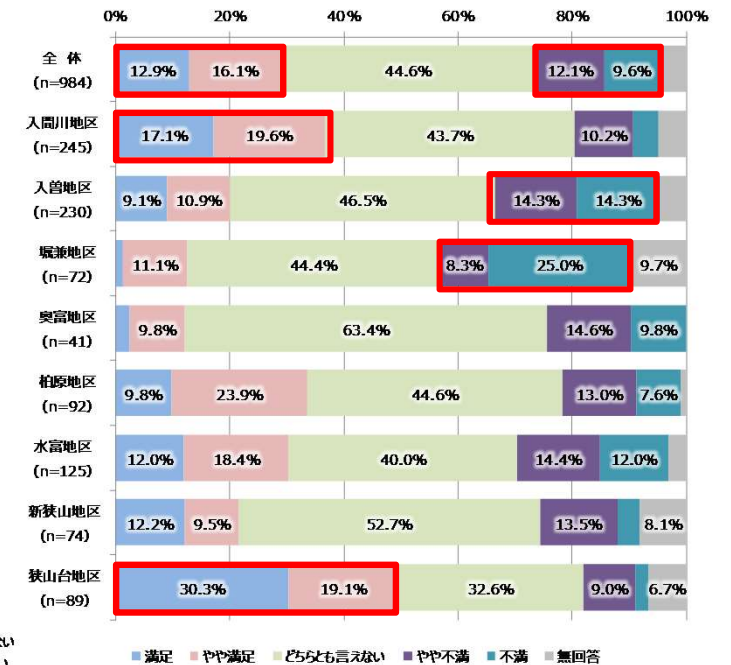
#### <公共交通の課題>

- ・市内の各医療施設への午前中に対する移動ニーズが高い状況である。
- ・移動ニーズが高い時間帯と移動が多い医療施設に対して対応を検討していくことが必要となる。

#### 4. 茶の花号の利用状況や不満点



#### 5. 公共交通の満足度



#### <不満点の記述回答>

不満点	件数
運行ルートの変更改善	6
運行時間帯の拡充	3
運行本数の充実	6
バス停設置・設備の変更改善	5
運行情報等の提供方法の充実	12
その他	12

#### <利用状況>

- 茶の花号の利用者は少ない状況にある。
- 堀兼地区、水富地区、新狭山地区は、他の地区に比べて利用者が見られる。

#### <不満点>

- バス停までの移動が大変、目的地までのバスがない、日中の便が少ないなどの不満点が見られる。
- 全体的に運行ルート、運行時間帯、運行本数などの不満点が多い。
- また、運行情報がわかりづらいとの声も見られる。

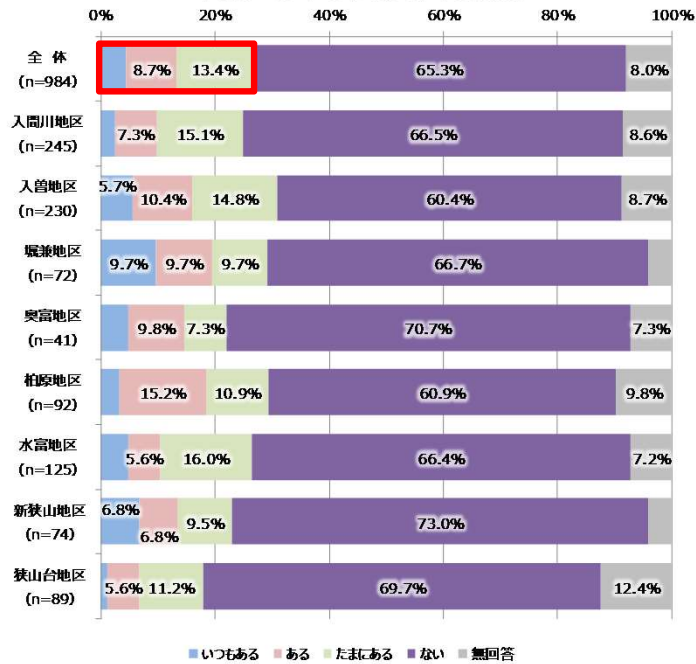
#### <満足度>

- 満足とやや満足を合わせると29.0%となっており、不満とやや不満を合わせると21.7%となっている。
- 入間川地区、狭山台地区は、他の地区に比べると満足度が高く、入曽地区、堀兼地区は他の地区と比べると満足度が低い状況にある。

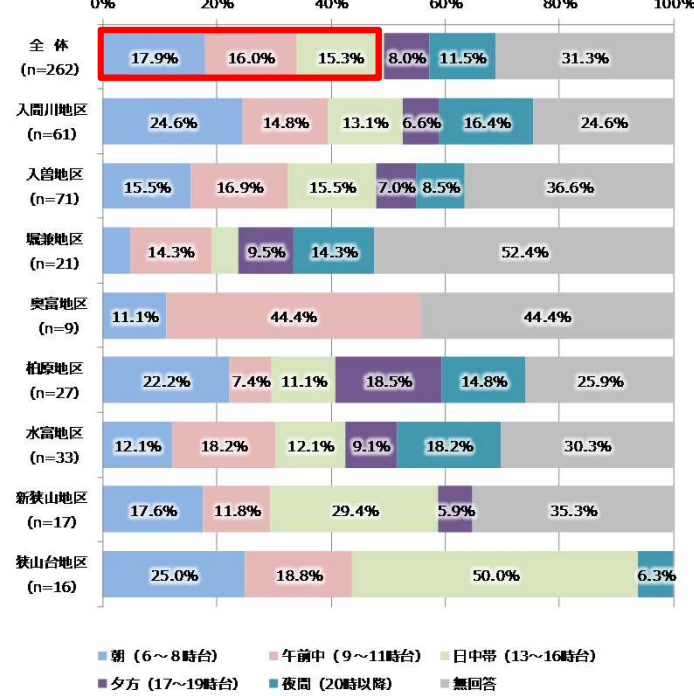


## 6. 日常生活における困りごと

### <市内における移動で困る頻度>



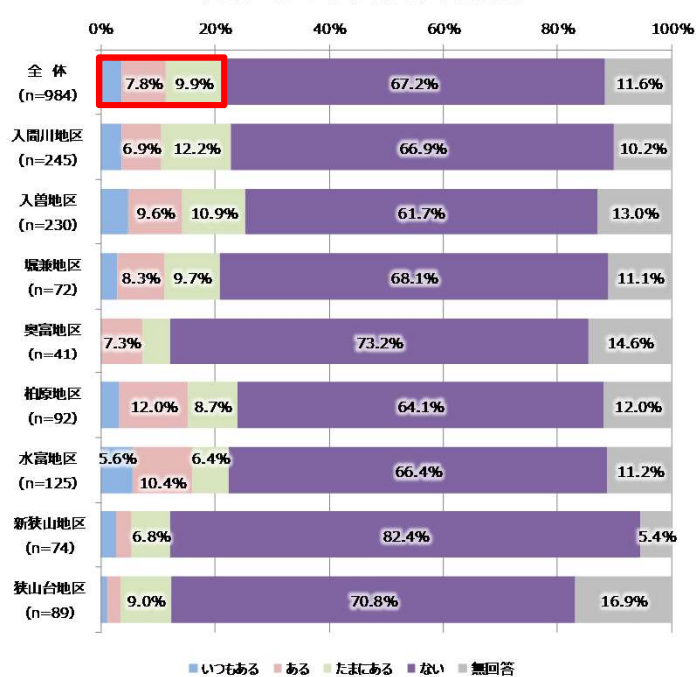
### <市内における移動で困る時間帯>



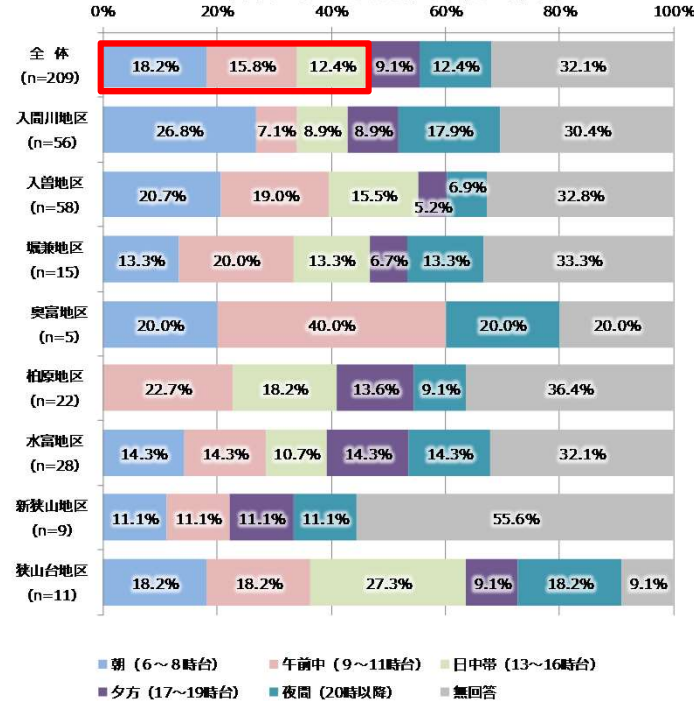
### <市内における移動で困る行き先>

行き先	回答数	行き先	回答数
病院	53	そよら武蔵狭山	2
買物	35	ベルクベスタ狭山店	2
駅	34	学校	2
狭山市駅	19	笹井方面	2
自宅	16	入間市方面	2
職場	15	講座・習いごと	2
スーパー	11	県外への外出	2
市役所	10	狭山台方面	2
入曽駅	7	根岸新道	1
外出時全て	7	市役所方面	1
新狭山駅	6	智光山方面	1
稲荷山公園駅	5	公共施設	1
入曽方面	5	所沢方面	1
その他商業施設	5	柏原保育所	1
家族・友人宅	4	新狭山方面	1
銀行・郵便局	4	智光山公園	1
国道16号線	3	赤坂の森	1
ドラッグストア	3	車がないといけな場所	1
飲食店	3	旅行での外出	1
図書館	3	施設への送迎時	1
ヤオコー	3	武蔵藤沢方面	1
役所関係	3	新所沢方面	1
入間市駅	2	武蔵藤沢駅	1
保育園	2	飯能方面	1
ヤマダ電機	2	昭代橋	1
さやま総合クリニック	2	合計	295

### <市外における移動で困る頻度>



### <市外における移動で困る時間帯>

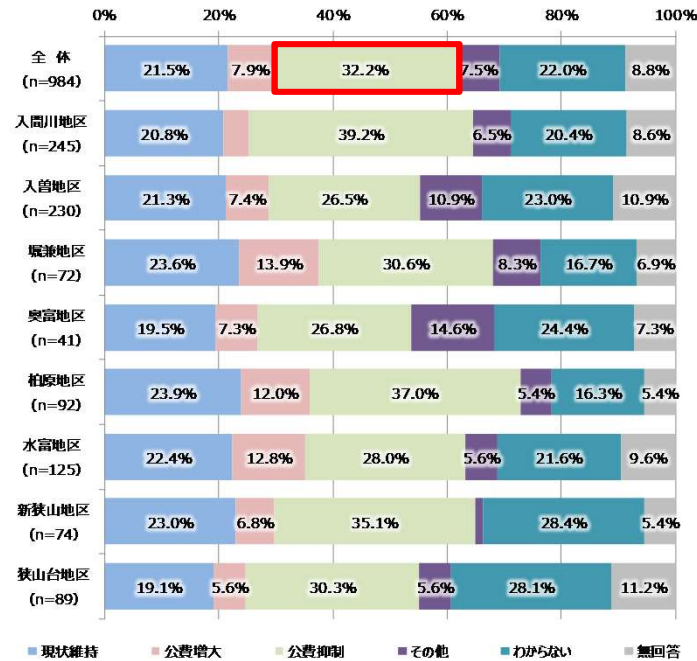


### <市外における移動で困る行き先>

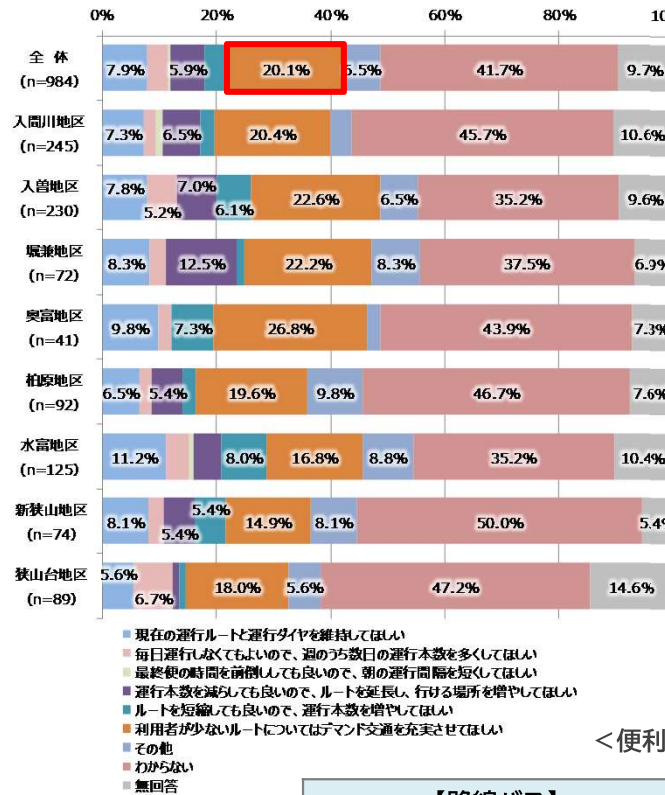
行き先	回答数	行き先	回答数
病院	20	実家	2
駅	19	川越駅	2
職場	18	上尾市方面	1
入間市方面	15	入曽方面	1
入間市駅	14	飲食店	1
自宅	13	家族の家	1
買物	9	銀行	1
県外への外出	9	栗橋町方面	1
外出時全て	7	県道8号線	1
川越市方面	7	公民館	1
所沢市方面	7	小手指方面への林道	1
飯能市方面	6	世田谷区方面	1
日高市方面	6	通院	1
稲荷山公園駅	6	鶴ヶ島市方面	1
入曽駅	4	所沢駅	1
大宮市方面	3	所沢方面	1
市外への外出時	3	図書館	1
市役所	3	富士見市方面	1
学校	3	保育園	1
埼玉医科大学医療センター	3	みなとみらい方面	1
飯能駅	3	武蔵藤沢方面	1
狭山市駅	2	郵便局	1
スーパー	2	子供の遊び場	1
道路	2	車でしか行けない場所	1
防衛医科大学学校病院	2	の場駅	1
旅行への外出時	2	仏子駅	1
県道126号線	2	本川越駅	1
国道16号線	2	合計	221

## 7. 今後の公共交通のあり方

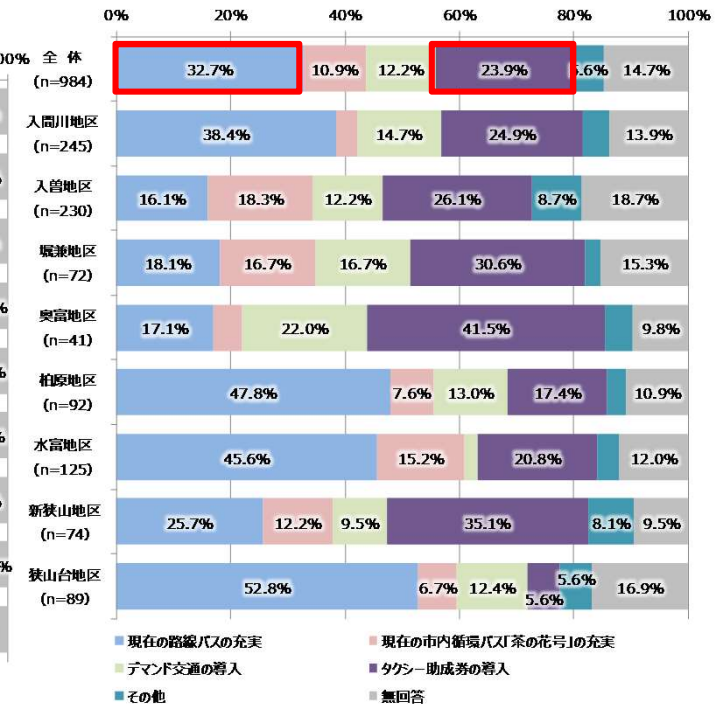
### <公共交通全体のあり方>



### <茶の花号のあり方>



### <便利になると思う公共交通施策>



### <便利になると思う公共交通施策の自由回答>

【路線バス】	件数	【公共交通全般】	件数
運行ルートの更なる改善	5	乗り継ぎの充実	1
運行本数の充実	1	運賃の低廉化	1
緊急時の臨時便の運行	1	運行時間帯の拡充	1
現状の維持	1	LRTの導入	1
		ライドシェアの導入	2
		カーシェアリング、シェアサイクルの導入	1
		自動運転バスの検討	1
		高齢者の利便性の向上	3
		その他	1
【タクシー】	件数		
運行台数の増加・待ち時間の短縮	1		
タクシー助成券の導入	4		
【デマンド交通】	件数		
周知PRの促進	1		
運賃の低廉化	1		
運行エリアの拡大	2		

### <日常生活の困りごと>

- ・市内の移動及び市外への移動ともに、20%程度は、困りごとがあると回答している。
- ・時間帯は午前中で、病院、買物、職場、駅への移動で困っているとの回答が見られる。

### <公共交通のあり方（ニーズ）>

- ・今まで以上に公費を投入して、公共交通サービスを充実させてほしいとのニーズは少ない。
- ・求めている施策としては、茶の花号の再編による一部デマンド化、路線バスなどのバスの充実、タクシー助成券の導入などがある。

# 狭山市茶の花号利用者アンケート調査結果概要

## ■調査概要

### 1. 調査の実施方法

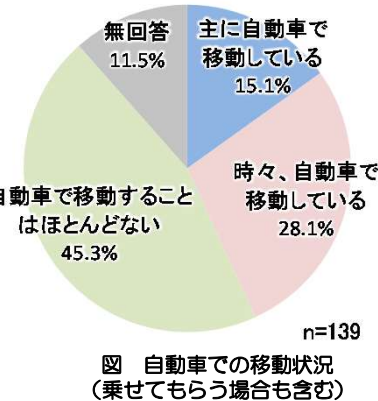
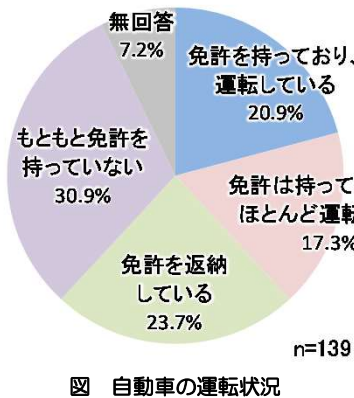
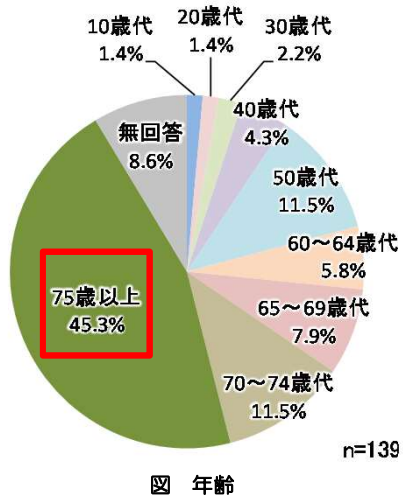
調査対象者	市内循環バス「茶の花号」の利用者
調査方法	車内留め置き、郵送回収（Web回答も可）
調査時期	令和5年10月2日（月）～令和5年11月6日（月）
回収数	139票

## ■結果概要

### 1. 回答者の属性

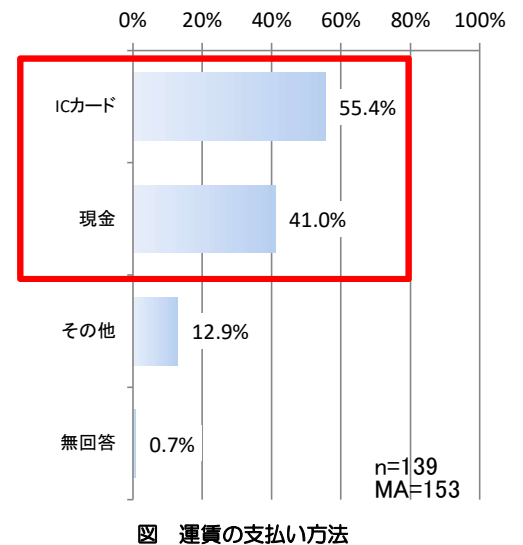
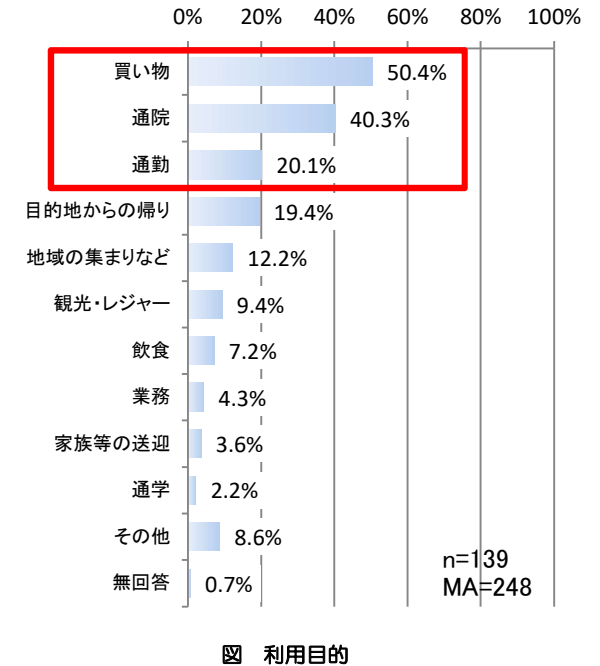
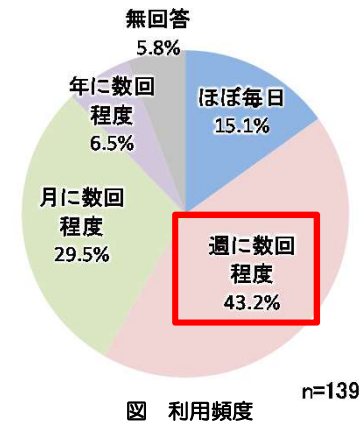
#### ①年齢及び自動車の運転状況

- ・回答者の年齢は、「75歳以上」が45.3%と最も高くなっています。
- ・自動車の運転状況は、免許を保有していない回答者だけでなく、普段、運転している回答者も見られます。



### 2. 利用頻度や利用目的

- ・週に数回程度の利用が多く、利用目的としては、買物、通院、通勤の利用が見られます。
- ・支払い方法としては、ICカードと現金が半数程度となっています。





### 3. 利用状況

- ・往復利用が38.1%となっている一方で、行きだけの利用が36.0%となっています。
- ・片方の移動手段としては、路線バスや徒歩が多くなっており、交通手段を使い分けている実態が見られます。
- ・理由としては、「時間に合う便がないから」との回答となっており、時間に合う便が改善されれば、利用したいとの意向が64.6%となっています。

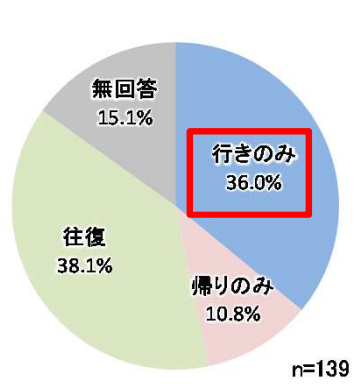


図 目的地までの利用状況  
(利用の予定も含む)

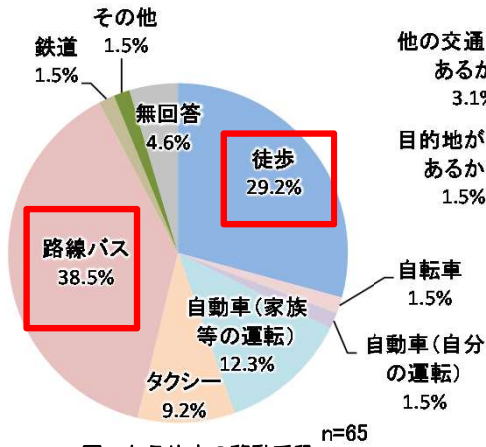


図 もう片方の移動手段

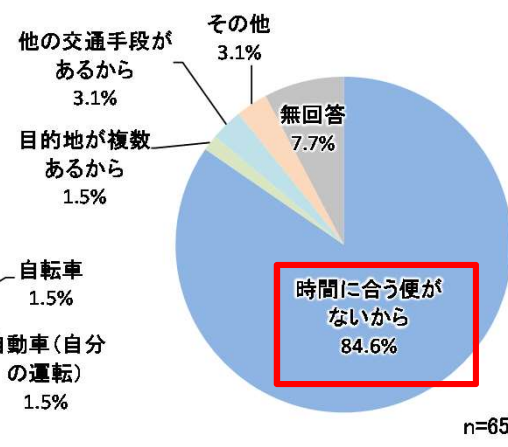


図 往復で利用しない理由

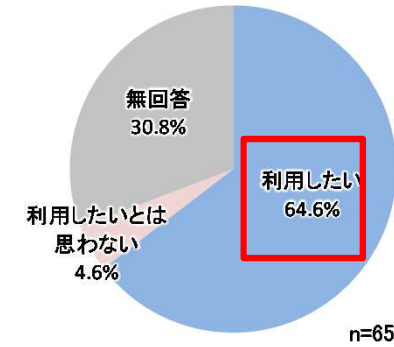


図 利用しない理由が改善された場合の利用意向

# 狭山市民生委員アンケート調査結果概要

## ■調査概要

### 1. 調査の実施方法

調査対象者	市内の民生委員、地域包括支援センター委員
調査方法	定例会において直接配布 直接回収もしくはWeb回答により回収
回収数	200票

## ■結果概要

### 1. 担当区域の交通弱者の有無

- ・担当区域において、交通弱者が「いる」との回答が65.5%となっています。
- ・世帯数としては、5～10世帯程度が多くなっています。

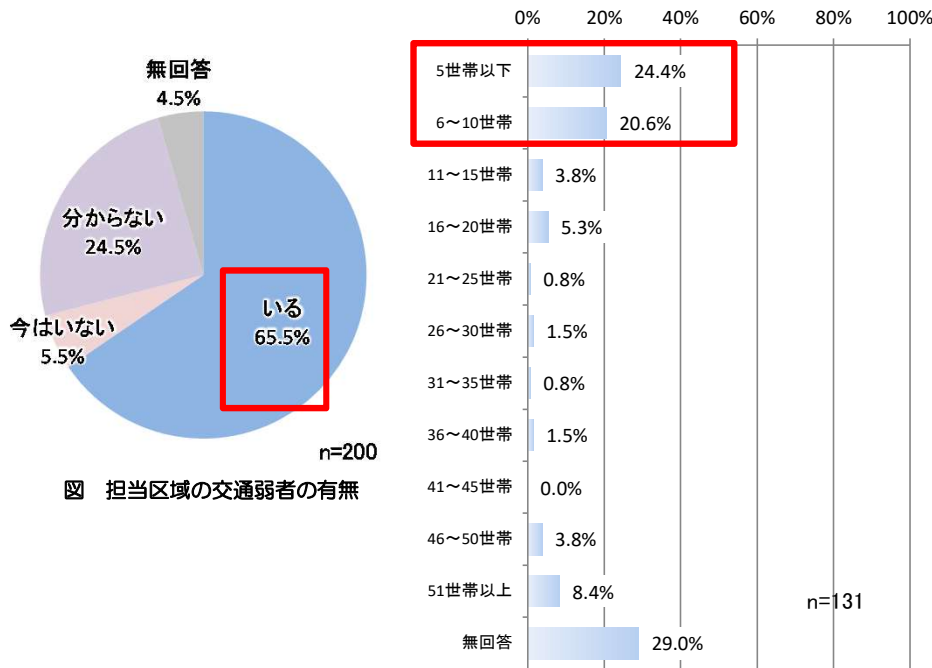


図 担当区域の交通弱者の世帯数

### 2. 担当区域の交通弱者の実態と移動に関する悩み

- ・交通弱者の実態は、高齢のため自動車の運転を控えている方や運転免許証を返納した方、身体の不自由な方などとなっています。
- ・外出手段としては、徒歩、自動車送迎、自転車、タクシー、路線バスなどとなっています。

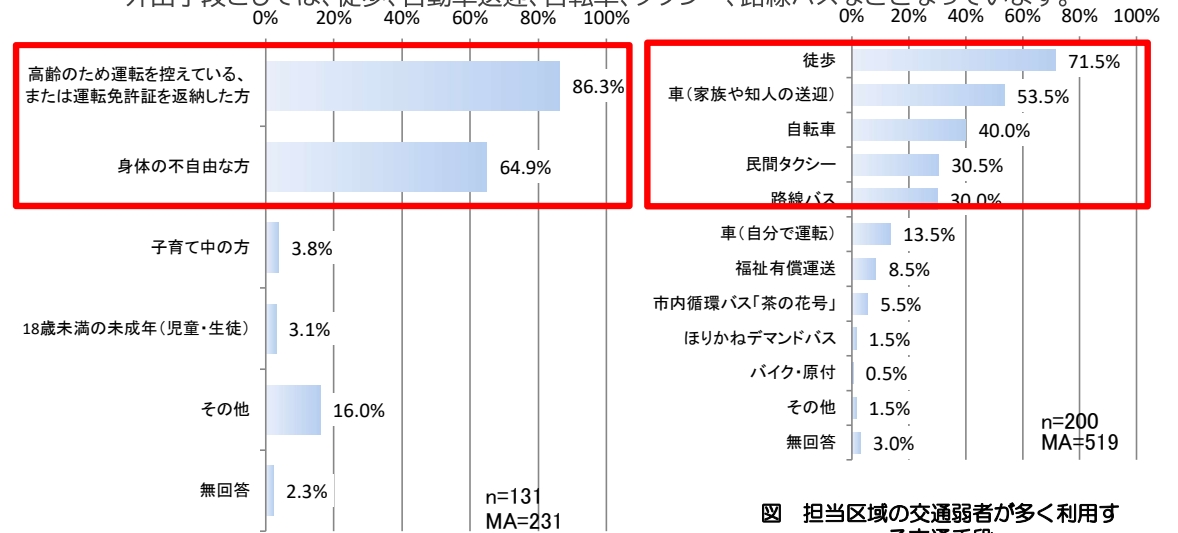


図 担当区域の交通弱者の実態

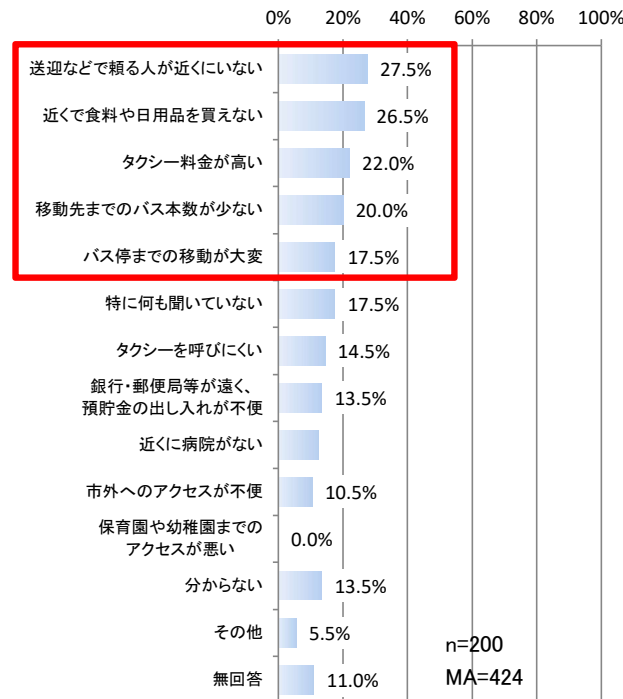


図 担当区域の高齢者の移動に関する悩み

**<移動に関する悩み>**

- ・送迎など頼る人が近くにいないなど移動手段に関する悩みごとが見られる。
- ・また、近くで食料や日用品が買えないなどの近距離移動に関する悩みごとが見られる。バス停までの移動が大変などの悩みも見られ、近距離移動に対する移動手段の検討が必要となる。